

特別講演「光学活性天然物の化学合成-フェロモンを中心として-」を終えて

農学部生物機能科学科 准教授 赤壁善彦

9月11日（土）15時より、吉田キャンパス連合獣医棟4階大講義室で、東京大学名誉教授 森 謙治（もり けんじ）先生による特別講演会を行いました。参加者は、農学部、理学部の学部生、大学院生、教員ならびに、産学公連携・イノベーション推進機構のスタッフ、さらには企業の研究者、計50名以上でした。講演内容は、今年6月に、イタリア化学会より、キラリティーメダル賞を受賞された際の受賞講演が主でしたが、森先生の50年以上にわたる膨大な御研究の中から、研究を始めるきっかけ、フェロモン研究を通しての生物界のキラリティーに関する新たな知見、多くの研究者たちとの交流話、さらには今後の合成化学の展望について、大変分かり易くお話しいただきました。90分という講演時間でしたが、75歳とは思えない非常に迫力のある講演で、出席者皆、真剣に耳を傾け、質問も活発に行われました。講演会後の交流会も、学生に研究に対する心構えなど、丁寧に語っていただけました。このような講演会は他大学では開催例がなく、非常に貴重でした。

最後に、今回の特別講演の開催にあたり、企業への講演案内など、産学公連携のスタッフの方々には、大変お世話になりました。御礼申し上げます。



森謙治先生による講演



学生との交流会